

すくらむ21〈3大イベント〉

すくらむ21まつり



毎年6月23～29日の川崎市男女平等推進週間の日曜日に開催。地域の赤ちゃん連れの家族からお年寄りまで4,000人超が来場する「すくらむ21」最大のイベントです。屋外は飲食、物販、サービスなど女性起業家による出店。ホールはダンスや演奏、屋内も男女共同参画にちなんだ活動団体の企画・展示が盛りだくさん。

イクメン研究所プレゼンツ親子コンサート



乳幼児がいる親子が周りに気兼ねすることなく生演奏の音楽をおもいきり楽しめるコンサートを、イクメン研究所と地元の演奏家の方たちがコラボレーションして催す秋のイベント。小さい子どもと一緒にパパが参加して楽しめるよう、イクメン研究所のメンバーもさまざまな工夫を凝らしています。

ほっと・はっと・ミュージカル



泣いても笑ってもいい、周囲の目を気にせず、「ほっと」した気持ちで、時には「はっと」しながら、観劇を存分に楽しめる場を提供する目的で開催している冬のイベント。子どもが泣いたら迷惑をかけると気兼ねし、ミュージカル鑑賞もままならない乳幼児とその家族に大好評です。

かわさきの男女共同参画情報誌「すくらむ」



市内で活躍しているけれどあまり知られていない女性を取り上げ、その半生を語っていただく特集ページやデータでみる企画ページなどを掲載する情報誌です。連載コラムやメディア紹介を交えて、読み物として楽しみながら、何かのヒントを得てもらえたら…と発行しています。各号4,000部を配布し、またホームページでのPDFを公開するなど、幅広い読者を開拓中。年3回(6月、10月、2月頃)発行。2020年10月発行分で67号となります。

すくらむ21の20年史

1999	◆9月開館 ◆『すくらむ21通信vol.1』発行
2001	◆『かわさきジェンダー指標に関する報告書』発行 ◆「男女共同参画推進フォーラムin川崎」開催 ◆女性政策塾
2002	◆『ジェンダーの視点からの川崎市域における公的市民向け刊行物に関する調査研究報告書』発行
2003	◆『川崎市生活時間実態調査報告書～男女共同参画社会を目指して～』発行
2005	◆『かわさきの男女共同参画データブック』発行 ◆「男性育児講座(全2回)」開催 ※男性を対象とし、男性が育児をすることを進めるために企画した講座
2006	◆「すくらむ21まつり」スタート ◆指定管理者制度導入 ※全国初民間事業者による男女共同参画センターの運営 ◆インターンシップ事業開始
2007	◆「川崎市内工業組合団体女性活躍推進事務局長会議」スタート ◆大学生インターンシップが手がけた企画「しゃべり場」開催 ◆理工系分野への女性の進路選択をもっと身近に「リケジョスクール」開催 ◆「男女共同参画協働事業」スタート
2009	◆開館10周年記念事業として、パープルリボンプロジェクトを実施

2011	◆東日本大震災で避難している女性と子どものための避難者ほっとサロン ◆カジダン・イクメン・イクジブプロジェクト
2012	◆女性の視点からのかわさき防災プロジェクト立ち上げ、防災冊子の制作 ◆キャリア支援冊子『はたらくっておもしろい』発行
2013	◆「イクメン研究所」活動開始 ◆「避難所運営ガイド」発行 ◆シニア向け防災冊子発行／JKB誕生
2014	◆父子手帳『ちちるべ』作成 ※2016年に第10回キッズデザイン賞で奨励賞を受賞
2015	◆シングルファーザー生活実態調査
2016	◆「女性リーダー養成事業」を事業者と共催で企画・開催 ※2018年からの「かわさきえるほし認証制度」につながりました ◆男性のための電話相談事業スタート
2017	◆シングルファーザー向け事例集 『みんな、どうしてる？ 川崎市に暮らすひとり親男性に聞きました』発行
2019	◆開館20周年 ◆川崎市危機管理室と連携して、女性の視点からの防災をテーマに「自主防災組織のリーダー等養成研修」を全7区で開催 ◆「シニアシングル女性のためのサバイバル読本」発行 ◆「データでみるかわさきの男女共同参画2020」発行

川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)施設概要

川崎市の男女平等施策を推進するための拠点施設

開館時間:8時30分～21時30分(窓口での予約受付は19時まで)

貸室時間:9時～21時30分

休館日:偶数月の第3火曜日・年末年始

指定管理者:すくらむ21運営共同事業体

〒213-0001 川崎市高津区溝口2-20-1 (アクセスは下記ホームページをご覧ください)

電話:044-813-0808 FAX:044-813-0864

https://www.scrum21.or.jp/

すくらむ21 検索



愛称「すくらむ21」に込めた想い

当センターが、市民により親しまれ、愛されるよう愛称を市民から公募し、選考の上、1999年6月に決定しました。「すくらむ」という名称には、「男女共同参画社会の実現を目指して、男女が手を取り、肩を組み、助け合いながら活動の輪を広げていこう」という思いが込められています。

また、男女共同参画センターの開設が21世紀の幕開けにふさわしく、また新世紀において一層発展していくという願いを込めて「21」が付け加えられました。当センターは、市民とのパートナーシップによって男女共同参画社会の形成をめざしています。

すくらむ21
20
anniversary

これまで、これからも、
スクラム組んで

川崎市男女共同参画センターは、1999年9月に開館し、2019年9月に開館20周年を迎えました。人間で言えば、20歳です。この間、さまざまなことがありました。

川崎市では、30年近く前、かわさきに男女平等を推進するための活動の拠点がほしいと、女性たちが中心となって「(仮称)川崎市女性センター基本構想―建設に向けての提言―」が提出されたのが1992年12月のことでした。「(仮称)川崎市女性センター基本計画」が策定されたのが1994年3月。その後、早期建設を求める請願が出されるなどの運動を経て、新たに建設するのではなく、高津区民館(当時)だった建物をリフォームして整備することになり、現在の場所での開館となりました。

これからも、もっとうと市民のみなさんとともに、男女共同参画社会の実現に向かって進んでいく、すくらむ21であり続けます。これからも、よろしくお願いします。

2020年12月

川崎市男女共同参画センター
開館20周年記念プロジェクト

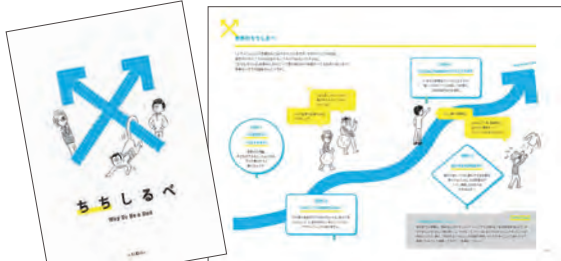
男性にとっての男女共同参画

Keyword 1 カジダン・イクメンプロジェクト

国の男女共同参画基本計画に「男性にとっての男女共同参画」という文言が入ったのは第3次（2010年改定）のときです。それを受け川崎市も男性を対象とした事業を推進することとなり、すくらむ21もその一翼を担うことになりました。「カジダン」とは家事をする男性、「イクメン」とは育児をする男性。ここ10年で、この言葉もだいが浸透しました。



Keyword 2 イキメン研究所



研究員が企画編集した『ちちしるべ』

「イクメン」は、家庭でも地域でもいきいきと活躍する男性のこと。「ほかのパパはどうしてる？」と思っても、なかなか聞ける相手がないパパたちが、交流を図るために立ち上げたのが「イクメン研究所」です。第一子誕生を機に地域に活動の場を作ってほしいと考え、0歳児からの子どもを連れて参加できるパパサロンがその源流にあります。参加するだけでなく、自らの疑問を出発点に研究員として調査をしたり、地域のパパ向けの講座を企画して実施したり、パパのアイデアを活かしてみることができるとなっています。

2016年には、参加者である研究員の研究の成果として父子手帳「ちちしるべ」を発行。第10回キッズデザイン大賞奨励賞を受賞するなど、好評を得ました。

Keyword 3 シングルファーザー

死別や離婚などで、男性がひとり親として子育てを担う父子家庭の父親をシングルファーザーと言います。すくらむ21では「余命の限られた病気にかかり、近い将来父子家庭になってしまう夫と子どもたちの支援を探している」というある女性からの連絡を受けたことをきっかけに調査を実施。当時、父子家庭支援団体が極めて少ないことを課題と捉え、全国でも例をみない事例集「みんなどうしてる？ 川崎市に暮らすひとり親男性に聞きました」にまとめました。



『みんなどうしてる？ 川崎市に暮らすひとり親男性に聞きました』

Keyword 4 男性のための電話相談

男性であることにより生じるさまざまな悩みを、男性の相談員に話すことで、何らかの解決の糸口やヒントを得ていただくための電話相談です。

全国の男女共同参画センターでも、男性のための相談事業を行っているところは多くありません。すくらむ21では2016年よりスタートして認知されつつありますが、今後もひとりでも多くの男性に利用してもらいたいと考えています。



市民との協働

Keyword 5 公募制による協働事業

市内の市民団体とすくらむ21が協働することで、互いに単独ではできない事業を展開したいとの思いで始めた事業です。パートナーとなる団体を公募し、男女共同参画協働事業として2007年から実施しています。

これまでに、講座やイベント開催のほか、市民を対象とした調査研究事業にも取り組んでいます。この事業から、人気のある定番の講座が誕生したり、グループが立ち上がったというような、成果が得られています。



2019年協働事業報告会

すくらむ21を読み解く12のキーワード



女性の人権への取り組み

Keyword 6 パープルリボンプロジェクト

開館10周年事業として取り組んだのが「パープルリボンプロジェクト」です。女性の人権について理解を広げることや、女性であることから受ける暴力などの人権侵害について予防啓発する事業を、キャンペーンのキャラクター「バル」を用いるなどして広く展開しています。

また、神奈川県タクシー協会川崎市部の協力で全市のタクシーにリーフレットを配布するなど、必要な方に情報を届けるためのさまざまな工夫を重ねています。



開館10周年事業の様子



キャラクターの「バル」

Keyword 7 避難者ほっとサロン



2011年3月に発生した東日本大震災。その直後、川崎市も避難先自治体として名乗りを上げ、被災地支援を実施しました。すくらむ21では、被災者への支援物資提供などとともに、避難先で孤立しがちな女性と子どもが仲間づくりをして、避難当事者としての気持ちを共有するため、2013年から「避難者ほっとサロン」を開始しました。全国各所での同様の事業は終了しましたが、現在も、月に1回避難者の女性たちにほっとできる場を提供し続けています。

Keyword 8 女性の起業支援

女性の働き方のひとつとして起業という選択肢を考えている方や、すでに起業をしたけれど、事業を継続するために奮闘している方のために、すくらむ21では年間を通じて支援メニューを用意しています。市内の起業支援機関とも連携して、無料相談会などの開催も行っています。

現在働きながら起業を考えている方にも、副業的な起業を準備している方にも参加しやすいよう土曜、日曜の講座も実施しています。



若者にとっての男女共同参画

Keyword 9 インターンシップ

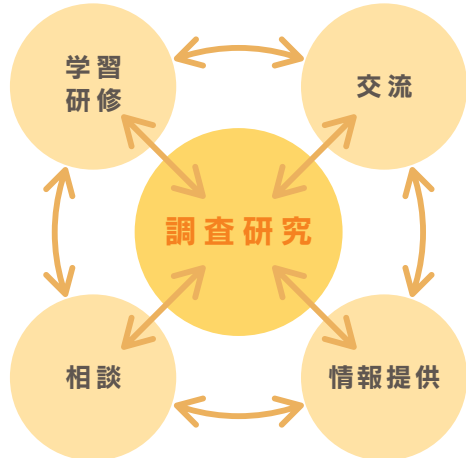
「働くって面白い」をテーマとしています。性別にかかわらず個性や能力を発揮し活躍している地域の働き手と学生をつなぐ「ブリッジインタビュー」など、職業キャリアを積む前に「働くこと」を体験します。生涯を通じて「働くこと」を考えるきっかけになればとの思いから始まった大学生を対象としたインターンシップ事業は14年目になり、初期の参加学生はすでに30代になっています。

インターンシップ生に対しては「学生」として接するのではなく、「職業人」として接することを大切にしています。さらに、さまざまな職業人を招いて「なぜ、働くのですか？」と学生自らインタビューする経験もします。これらを通して、学校のOGやOBからは聞くことのできない仕事観を知り、「刺さる言葉」のプレゼントを胸に巣立った修了生が数多くいます。

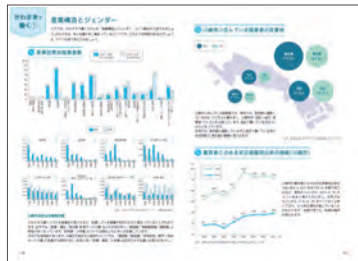


すくらむ21の主要事業のひとつ

Keyword 10 調査研究事業



すくらむ21 施策事業の連関図



データでみるかわさきの男女共同参画2020

市民の声を男女共同参画の視点からすくい上げて、新しい事業を手がけていくことはとても大切です。全国的に見ると地道な作業のせいか、積極的に調査研究事業を展開する男女共同参画センターが少ない中、すくらむ21では地域に密着した主要事業のひとつとして位置づけ、実施しています。

調査や相談から把握した課題を解決するために講座などの企画につなげたり、『かわさきの男女共同参画2020』のような成果物にまとめて情報発信するなど、他事業との有機的なつながりを保っています。また、他事業の成果をフォローアップするなど、事業間の双方向性も維持して、事業の効率的なサイクルを実現しています。

男女共同参画の視点からの防災・減災

Keyword 11 防災女性リーダー

防災・減災に関することは、地域では男性の役割のように考えられがちで、実態も男性が中心となって運営されていることがほとんどです。

川崎市においても、防災分野のリーダーは男性に比べて女性が少ないのが現状です。そこで、過去の震災の経験を被災地の女性に学びながら、ライフスタイルにあわせた防災への身近な取り組みを実践し、いざというときに自分や大切な人の命を守る行動がとれる女性のリーダーを地域に増やしていこうと力を入れて取り組んでいます。



Keyword 12 防災・減災冊子

男女共同参画の視点からの防災・減災という考え方は、東日本大震災の前から提唱されていることでしたが、この認識が広がったのは残念ながら大震災後のことでした。すくらむ21では、女性の視点から考える防災・減災冊子を発行し、その後も、改訂を重ねています。

災害時は、だれもが同じように被災するわけではありません。すべての人に、いざという時に受けるダメージを小さくするためのヒントを見つけて、実践してほしいという願いが込められています。



シニアシングル女性のためのサバイバル読本



男女共同参画の視点でつくる避難所運営ガイド



これまでも、これからも、スクラム組んで

20周年を迎えたすくらむに、 たくさんのメッセージが届いています

20周年おめでとうございます。
毎年色々な行事やトークの会楽しんでおります。
これからも、女性の活躍のお話が
たくさん聞くことができれば
高齢者の励みになると思いますので、
よろしくお願いします。
女性／70代／中原区

がっちりスクラム組んでこれからも前進。
男性/60代/練馬区

すくらむ大好き!!
女性／50代／中原区

おめでとう
今日も楽しくドンドコドン
男性／60代／中央区

男性も生きやすい社会へ!
男性／40代

楽しそうに利用している人をみて、
私も利用したいと思いました。
いつも楽しく、安心安全な
すくらむ21でいてほしいです。
つー・女性／10代／宮前区

わたしは、モデルになって
すくらむ21の表紙になりたい。
るな・女性／6歳／市外

これから困ったことがあったり、
大人になった時は利用したいと思います。
これからも施設をよりよくし、がんばってください。
サバカン30a・男性／10代／宮前区

年に3、4回ほどの利用ですが、
再会するたびに
「なにか」をつかんで帰っています。
働く私が定年したら、
行きつけの場所にしたいです。

女性の地位が121／153か国
仕事はまだまだ多い! ガンバレ!
女性／60代／世田谷区

めざせ100周年!!
これからも素晴らしい取り組み期待しています!!
男性／20代

みんな異なってみんないい。
女性／80代／宮前区

川崎市民のためにいつも様々なご支
援をいただきありがとうございます。
これからも市民に寄り添ったご支援
よろしくお願い申し上げます。
男性／40代／幸区

たくさんの方、お入りください。
楽しいですよ!
女性／70代／多摩区

いつも子連れだった私たちを
あたたかく迎え入れてくださった
歴代の館長さん、職員さん、
そして警備員たちに
今も感謝の気持ちでいっぱいです。
女性／40代／高津区

20周年本当におめでとうございます。
LOVE peace
女性／60代／市外

私が生まれたのは
すくらむ21と同じ1999年9月。
私の成長と一緒にすくらむ21も
年を取ってよりよい川崎のために、
もっともっと長生きしようね!
にに・女性／20代／多摩区

みんなが差別されない街になあれ!
みなでんちゃん・男性／30代／市外

職員の方々の一生懸命な姿に
感動しています。

センター設立以来、私たちの目標とする
女性の自立と地位向上のため、
ご尽力いただきありがとうございます。
特に東日本大震災の時は、
被災して川崎に来られた女性たちのために
ご支援くださったことを思い出します。
男女共同参画センターの文字通り
皆が共に生きる社会の構築を目指して
活動されることを期待します。
女性／80代／中原区

90歳までがんばっていきたいです。
えのちゃん・女性／80代／高津区

だれもが性別にかかわらず、
もっと暮らしやすく
働きがいをもって
生きやすい町にしていこう!
女性／40代／多摩区

男も女も活躍できる社会に
なりますように。
女性／80代／中原区

ここの講習で学び、
仕事に生かすことが出来たと
いえるようなことを数多くやってほしい。
女性／70代／中原区

20周年おめでとうございます
安心安定の社会を
共に作りましょう。

誰もが平等に暮らせる川崎市に
なってほしい!
女性／20代／多摩区

20周年おめでとう。
いつも楽しい場を
提供していただき感謝です。
男性／60代／世田谷区

男女という性差ではなく、
それぞれの個性が生かせる
世の中をめざして!!
これからも“支える育む つなぐ”
すくらむ21に期待しています。
女性／60代／横浜市

20周年おめでとうございます。
女性の視点で防災を取り組んでいます。
皆さんのご活躍を楽しみにしています。
これからもよろしくお願いします。
女性／70代／多摩区

無理のないように焦らず、
前だけを向いて歩いてください!
女性／50代／高津区

女性リーダーの育成がんばってください。
ニャン子・女性／70代／市外

20周年おめでとうございます。
私と同級生です!!
これからもすてきな活動を続けてください。
応援しています!
ひなこ・女性／10代／市外

20周年おめでとう! 住みやすい川崎に。
女性／60代／中原区

20周年おめでとうございます。
すくらむは私にとって無くてはならない場です。
女性／高津区

川崎市男女共同参画センター
(すくらむ21)に出かけて
たくさんの人と出会い、
感動と勇気、喜びをいただきました。

これからもコロナに負けず
健康で笑顔で明るく、楽しく
100歳をめざしてがんばります。
感謝しています。
幸福を運ぶおじさん・男性／79歳／幸区

赤ちゃんからお年寄りまで
安心して暮らせる川崎になあれ☆
女性／30代／高津区

男女共同参画、職場復帰、
子育ても含めて
情報提供してもらいたいです!
女性／30代／川崎区

20周年おめでとうございます。
楽しく過ごせる場所
女性／50代／宮前区

今も福島は台風で断水、
床上浸水で大変です。
川崎に避難して来て
皆さんからの寄付本当に助かります。
今後もすくらむ続けてください。
毎月楽しみにしています。
女性／70代／宮前区

20周年おめでとうございます。
多様な時代を
“しなやかに生きる”指針となる事業を
ぜひ楽しみにしています。
女性／70代

20周年おめでとうございます。
男女共同参画について、この
20年で意識は大きく変わったと思います。
次の20年を、よりよいものにしましょう!
やまちゃん・男性／40代／川崎区

20周年おめでとうございます。
男女平等! 差別のない社会!
女性／70代／高津区

またあそびにくるよ!
けいご・男性／0歳／高津区

年を重ねても
人の役に立てる人生でありますように。
女性／60代

20周年おめでとうございます。
老若男女生き生きと暮らせる社会に
地域が力を合わせて進みましょう!
女性／70代／宮前区

エポック中原より
“すくらむ21
20周年おめでとうございます。
これからも住みよい川崎に向け
協力していきましょう”
男性／40代

おめでとうございます!
20周年、大成功をお祈りしています
きくさん・女性／50代／宮前区

性別や年齢や肩書や立場に関係なく
自分が自分らしくありのままに
生きられる、誰もがその人らしく
生きることを認められる。
そういう社会を作りたい
男性／30代／川崎区

HAPPY BIRTHDAY!
祝!! 20歳!
男性／40代

すくらむをおうえんしている者より・
女性／50代／麻生区

20周年記念 「顔ハメすくらむ大作戦」 について

すくらむ21では20周年を記念して、皆様からメッセージをいただくとともに思い出になるようなことができないかと考えました。そこで、ハイパー顔ハメクリエイターのdecoさんに依頼して12種の顔ハメパネルを制作し「顔ハメすくらむ大作戦」を2019年12月にスタートしました。2020年6月のすくらむ21まつりまでに1,000人の顔ハメ写真を集めようというものでしたが、世界を襲った新型コロナの感染の影響で、計画を縮小せざるを得ませんでした。今回20周年記念紙を制作するのあたり、コロナ前とコロナがやや収まった状況で少しずつ集まった写真100人分を裏面に掲載しています。